

ミカン生育情報

千葉県
平成27年1月号

平成26年のまとめ

平成26年の気象

平成26年の気象を表1に示した。月別の平均気温は、平年に比べ1、3、5、6、10、11月は0.1～0.6℃高かったが、他の月は平年以下となり、特に9月は1.2℃、12月は0.9℃低かった。年平均気温は15.5℃で平年より0.1℃、前年より0.3℃低かった。

月別の降水量は、平年に比べ2、6、10、12月では多かったが、他の月では少なく、特に7月は平年の31%とかなり少なかった。年間の降水量は平年の89%であった。梅雨明けは7月22日頃とみられ、平年より1日遅れた。

月別の日照時間は、平年に比べ1、2、8、11月では少なく、その他の月では平年を上回った。年間の日照時間は平年の108%であった。

表1 平成26年の気象（暖地園芸研究所）

月	平均気温 (°C)			降水量 (mm)			日照時間 (時間)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	6.5	5.9	5.0	90	88	75	158	169	156
2	5.9	6.3	5.7	142	103	147	120	151	133
3	9.7	9.2	11.8	167	182	69	179	154	189
4	13.3	13.9	14.3	166	172	225	191	166	202
5	18.1	17.7	17.7	162	177	109	248	186	220
6	21.2	20.7	20.8	334	247	243	154	135	111
7	24.4	24.4	24.6	55	180	57	203	175	188
8	25.5	26.0	26.9	62	138	32	213	220	254
9	21.7	22.9	23.2	122	227	186	180	146	187
10	18.1	18.0	19.0	305	261	455	141	137	130
11	13.8	13.2	12.5	67	146	119	130	144	173
12	7.6	8.5	7.8	131	94	75	195	166	180
平均/合計	15.5	15.6	15.8	1800	2014	1789	2113	1948	2122

病害虫、生理障害の発生

果樹カメムシ類の発生はやや多かったが、加害は一律的ではなかった。その他の病害虫の発生は平年並みであった。生理障害としては、油胞の周りの果皮が窪み、その後壊疽する場合もある症状が発生した。これは、果皮の成熟期以降に、果面について水滴が乾かず残った際、水分の出し入れがうまくいかないために起こる現象である。

果実の生育

前年は表年だったが、冬期に特段の低温がなかったことから樹勢は良好であった。発芽期は、早生温州では4月9日で平年並み、普通温州では4月12日で平年より1

日早かった。

開花盛期は、早生温州では5月13日で平年より1日早く、普通温州では5月16日で平年より2日早かった。

3調査地（表2－注1）の収穫期の横径、縦径と一果重は早生温州、普通温州ともに平年以上であった。

果実品質は、着色が早生温州ではやや遅れたが、普通温州は平年より早かった。糖度は早生温州では平年より高く、普通温州は平年よりやや低かった。減酸の進みは早く、酸度は早生、普通温州とも平年より低かった。そのため、甘味比は早生温州、普通温州とも平年を上回った。

表2 平成26年の果実品質

種 類	横径 (cm)		縦径 (cm)		一果重 (g)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
早生温州	6.8	6.5	5.2	5.0	127	116
普通温州	7.8	7.5	5.1	5.1	157	146

種 類	着色程度		糖度 (%)		酸度 (%)		甘味比		果肉歩合 (%)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
早生温州	6.7	7.5	9.7	9.4	1.09	1.11	9.0	8.8	82.8	81.3
普通温州	8.8	8.0	9.8	9.9	0.73	0.96	13.6	10.5	73.6	75.2

注 1) 南房総市三芳地区、千倉地区及び暖地園研の3園地の平均値

2) 平年値は平成5～25年の平均値 3) 甘味比＝糖度／酸度

4) 収穫日は早生温州：10月29～30日、普通温州：12月1～2日

1 月以降の栽培管理

土づくり・施肥 高品質のミカンを生産するため、定期的に土壌の物理性及び化学性を把握し、1～2月に堆肥等有機物及び3月下旬に春肥の施用を行う。

間伐・剪定 剪定の前に、密植園では間伐を実施する。平成27年は着果量が多いことが予想され、このような年は新梢の発生が少ないため、樹形改造などのための太い枝の剪定は控え、予備枝の設定を丁寧に行う。

病虫害の防除 剪定時には黒点病やそうか病、かいよう病の防除のため、枯れ枝や罹病枝葉を除去する。そうか病は発芽した芽が1cm程度に伸びた時期（4月中旬）及び落花直後（5月下旬）に薬剤防除を行う。ミカンハダニは越冬期の防除で寄生密度を下げる。防除に際しては、千葉県農作物病虫害雑草防除指針を参考に行う。

《 生育情報の問合せ先 》

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話 0470-22-2961

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>